

一般質問から



岸本たてき議員

▶学校へのエアコン設置を地域経済潤すチャンスへ

小・中学校の普通教室に、やっと設置が決まりました。国の方針では2019年夏に間に合うように予算も付きました。広島県福山市は方針を一年早め、PFI方式から市の直営に変更しました。加古川市は、国の補助を受けずに13年間のリース方式で、

約33億円と一括発注の予定です。日本共産党加古川市議会議員団は、一日も早く実現することのために、学校単位に分割発注し、工事費用が市内経済を潤すことを求め、市長の方針を質しました。



▶志方・両荘・神野・八幡地域住民は下水道を待っている

下水道整備から外された各地域で、市民団体の「市内全域に公共下水道整備を求める会」のおこなったアンケート調査では、87%の方が今も下水道整備を求めておられます。下水道法には、下水道の整備で公衆衛生の

向上、公共用水域の水質の保全を目的とし、管理は、市町村が行うとしています。

下水道法の目的と市の方針の違いや下水道整備の区域縮小による問題認識を質しました。



立花しゅんじ議員

▶市民病院行きの無料バス運行を

公共交通空白地域、かこバスのある地域とない地域、市民病院行きのライナーが無料ルートと有料ルート、ないエリアが存在している事実を確認。法の下に差別されない、居住の自由、個人として尊重されることの大切さを訴える。財政調整基金64億円など204.4億円も一般会計基金残高、臨時財政対策債370億円にもふれて財源はあ

ることを強調。具体的に市民から出されている平岡東北部・野口水足のかこバスミニの新設、便数は何処でも30分に一本、最低1時間に一本に。病院ライナーは無料で地域を網羅すべし。また、バス料金優待制度や福祉タクシー制度の充実について迫りました。



高木えり議員

▶子どもの貧困をなくすために

子どもの貧困をなくすためには、その家庭や保護者の経済的負担を軽減させていくことが求められます。そのための必要だと考えらる施策について質問しました。

子どもの貧困
実態調査を

- 国民健康保険 子どもの均等割の減免・軽減を
- 就学援助制度をためらいなく利用できるように



▶指定袋導入でごみ減量？徹底した分別や資源化の議論を

廃棄物減量等推進審議会の指定袋導入の議論で、資料には導入した自治体のごみ量が減少したという成果が掲載されています。しかし、実際は指定袋導入の前に、徹底した分別や資源化を進めており、指

定袋導入でさも減量が成功しているような議論は間違っているのではないかでしょうか。本市のごみ分別や資源化は他の自治体と比べて不十分です。



平成31年度 第1回 加古川市議会(定例会)日程(案)

2/25(月)	平成30年度補正予算上程(質疑、付託) 施政方針 平成31年度予算及び条例・単行議案上程 (提案説明)	第1日	6(水) 一般質問 7(木) 一般質問 11(月) 委員会審査報告 (平成30年度補正予算、質疑、討論、採決) 平成31年度予算(質疑、付託)	第3日 第4日 第5日	13(水) 総務教育常任委員会(予算) 14(木) 福祉環境常任委員会(予算) 15(金) 建設経済常任委員会(予算)	
3/1(金)	常任委員会(平成30年度補正予算)		12(火) 条例・単行議案(質疑、付託)	第6日	26(火) 委員会審査報告 (平成31年度補正予算、条例・単行議案、質疑、討論、採決) 追加議案上程(即決)	第7日
5(火)	代表質問	第2日				

議案は市HPにも掲載されます。各委員会は9:30開会予定です。請願の締切は2月14日(木)です。